

台風第19号による浸水の検証に当たり意見聴取する 学識経験者等の第三者の選定について

川崎市では令和元年台風第19号による排水樋管周辺地域及び河川関係の浸水に関する検証を行っております。川崎市が実施する検証内容について、意見を聴取する学識経験者等の第三者を次のとおり決定いたしました。

検証内容に関する意見を聴取する第三者については、令和2年2月13日に開催した検証委員会（第2回）において審議・確認を行い、意見聴取を行う候補者に依頼を行ってまいりました。この度、依頼を行った候補者から意見聴取に関する承諾を得ることができたため、お知らせいたします。

1 第三者の氏名及び職名等について

- フルマイ 古米 ヒロアキ 弘明 東京大学大学院工学系研究科教授
- シブ オ 渋尾 ヨシヒロ 欣弘 東京大学大学院工学系研究科特任准教授
- モリタ 守田 マサル 優 芝浦工業大学副学長・教授
- チバナ 知花 タケヨシ 武佳 東京大学大学院工学系研究科准教授

2 専門分野、国の委員会等の実績等、選定理由について

別紙のとおり

【問合せ先】

川崎市上下水道局下水道部下水道計画課

峯 044-200-0352（下水に関すること）

川崎市建設緑政局道路河川整備部河川課

安部 044-200-2901（河川に関すること）

台風第19号に伴う浸水被害の検証にあたり、意見聴取する第三者の選定

【選定方針】

○検証内容について、科学的かつ客観的な意見をいただくため学識経験者または国の研究機関に所属している方から選定する。

○検証内容に対して、下水道分野または河川分野の両面から多数の意見をいただけるよう、下水道分野の専門家、河川分野の専門家を各々複数人選定する。

○学識経験者については、国土交通省等からの紹介や、国等が設置した下水道や河川の技術的な検討会の委員実績等も勘案し、国の動向や他都市の事例にも精通されている方を選定する。

専門等	氏名 (敬称略)	【職名・学位】 現所属	【専門分野】研究領域、研究テーマ	国の委員会等の実績等	選定理由	
学識 経験者	下水道	フルマイ ヒロアキ 古米 弘明※1	【教授・博士(工学)(東京大学)】 東京大学大学院工学系研究科 附属水環境工学研究センター	【都市環境工学】 都市雨水管理、下水道システム、水環境保全 都市における浸水解析及び雨天時汚濁解析に関する研究	・国土交通省 気候変動を踏まえた都市浸水対策に関する検討会委員長(令和元年12月～) ・国土交通省・日本下水道協会 下水道政策研究委員会制度小委員会委員(令和元年12月～) ・国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会委員(令和元年11月～)	都市における浸水解析及び雨天時汚濁解析等を研究課題にされており、下水道による浸水対策に関する幅広い知見を持たれているとともに、国土交通省が設置する浸水対策等に関する各種委員会の委員の実績からも国の動向等も踏まえた意見が期待できるため、検証についてのご意見をいただきたいと考える。
	下水道 河川 水害リスク	シブオ ヨシヒロ 渋尾 欣弘	【特任准教授・Ph.D(自然地理学)(ストックホルム大学)ほか】 東京大学大学院工学系研究科 社会連携講座「未来型の都市浸水リスク管理・制御システム」	都市水文、流域水環境、水災害リスク管理 河川洪水・内水氾濫予測、水災害情報の危機管理への活用	・世田谷区 令和元年台風第19号に伴う浸水被害検証委員会委員(令和元年12月～) ・朝霞市 雨水管理総合計画庁内検討委員会委員(平成30年度) ・国土交通省 関東地方整備局 利根川上流河川事務所 利根川上流水位予測精度向上検討会委員(平成24年～平成26年度)	河川洪水と内水氾濫の一体予測やIoT技術を活用した都市浸水予測技術の高度化等を研究課題にされており、河川と下水道の両面から水害リスクや浸水予測等に関する意見が期待できるとともに、「土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター」研究員としての研究実績もあり、水災害に対する危機管理の視点からの意見も期待できるため、検証についてご意見をいただきたいと考える。
	河川 下水道	モリタ マサル 守田 優※2	【教授・博士(工学)(東京大学)】 芝浦工業大学 副学長	水文学:都市水文学・地下水水文学 都市環境工学:水循環・都市物質代謝	・国土交通省 関東地方整備局 荒川下流河川事務所他 新河岸川流域水循環マスタープラン検討委員会座長(平成27年度～平成30年度) ・東京都 河川整備計画策定専門家委員会委員(平成29年度、平成30年度) ・国土交通省 国土審議会 専門委員(平成13年度～平成21年度)	都市の水循環に関わる諸問題を解決するための都市河川の洪水制御、都市雨水排水計画、浸水氾濫モデルを活用した解析等を研究課題にされているとともに、河川に関する国等の委員会の委員として実績があり、国の動向等を踏まえた意見が期待できるため、検証についてのご意見をいただきたいと考える。
	河川	チバナ タケヨシ 知花 武佳※3	【准教授・博士(工学)(東京大学)】 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻	【河川工学】 河川地形学、河道計画、河川生態環境工学、流域環境の保全と再生	・国土交通省 関東地方整備局 多摩川河川整備計画有識者会議委員(平成28年度、令和元年度) ・国土交通省他 インフラメンテナンス大賞選考委員(平成29年度～) ・国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 気候変動に適應した治水対策検討小委員会委員(平成27年2月～8月)	河川地形学や河道計画等を研究課題にされているとともに、また多摩川を対象にした研究も取り組まれており、国土交通省が設置した「多摩川河川整備計画有識者会議」等の治水対策に関する各種委員会の委員として実績があり、国の動向等を踏まえた意見が期待できるため、検証についてのご意見をいただきたいと考える。

※1 川崎市上下水道事業経営審議委員会の委員経験あり(平成16年11月～平成29年3月)

※2 川崎市高津区久地1丁目の浸水調査検討委員会の委員経験あり(平成23年2月～平成23年8月)

※3 川崎市ニヶ領用水総合基本計画 検討委員会の委員経験あり(平成23年5月～平成26年4月)